

金融仲介機能のベンチマークについて

(2022年度)



きのくに信用金庫

金融仲介機能のベンチマークについて

「金融仲介機能のベンチマーク」とは

2016年9月に金融庁が策定した金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標のことです。

当金庫は経営理念にもとづき、地域の活性化に向けた取組みを強化していくため「金融仲介機能のベンチマーク」を活用し、お客さまの様々なニーズや課題解決につながる融資支援・本業支援を展開しています。

更なる金融仲介機能の質の向上を図るため、「金融仲介機能のベンチマーク」を公表し、地域社会に貢献できる信用金庫を目指してまいります。

1. 取引先企業の経営改善や成長力の強化

1-1. メインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標の改善等が見られた先数

2022年度における当金庫のメイン取引先数4,540先のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数は2,599先となりました。当金庫はこれからも地域のメインバンクとして、地域経済の発展・成長に向けお取引先さまの支援に取り組んでまいります。

当金庫メイン取引先数	うち経営指標等が改善した先数
4,540先	2,599先

1-2. ライフステージ別の与信先数、および融資額

	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	8,952先	569先	484先	6,913先	544先	442先
与信先に係る事業 年度末の融資残高	1,731億円	67億円	121億円	1,338億円	85億円	119億円

創業期…創業、第二創業から5年以内の先

成長期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先

安定期…売上高平均で直近2期が過去5期の80～120%の先

低迷期…売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先

再生期…条件変更先または延滞のある先

2. 抜本的事業再生等による生産性の向上

2-1. 貸付条件の変更を行った取引先の経営改善計画の進捗状況

当金庫で貸付条件の変更を行った先で、経営改善計画書を策定しているお取引先さまは135先あり、そのうち計画の進捗状況が好調であるお取引先さまは3先、順調であるお取引先さまは59先となっております。当金庫では、引き続きお取引先さまとの対話を重視し、本部・営業店連携の上、本業支援・経営改善支援に注力してまいります。

	条件変更 総先	計画 策定先	好調先	順調先	不調先
条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	383先	135先	3先	59先	73先

2-2. 当金庫が関与した創業、第二創業の件数

当金庫は、創業の計画当初から包括的な支援を行っており、その実績は年々増加傾向となっております。

※第二創業支援であっても事業再構築補助金の申請支援等を行っている事業者は補助金申請支援先としてカウントしております。

	2021年3月	2022年3月	2023年3月
創業件数	44件	59件	69件
第二創業件数	2件	3件	1件

2-3. 創業支援先数（支援内容別）

2022年度における創業件数の69件の内訳を支援内容別でみると、資金のご相談が61件、販路開拓等の本業のご相談が3件、創業計画についてのご相談が11件となっております。（件数は延べ件数）

資金のご相談	販路開拓等の 本業のご相談	創業計画の ご相談 (計画書策定支援含む)
61件	3件	11件

3. 顧客ニーズに基づいたサービスの提供

3-1. 経営者保証に関するガイドラインの活用件数、新規融資に占める割合

当金庫では「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、経営者保証の必要性についてお客さまとの対話を通じて、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握した上で、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討いたします。検討を行った結果、経営者保証をご提供いただく場合には、保証契約の必要性等を丁寧かつ具体的に説明するなど適切な対応に努めてまいります。

新規に無保証で融資した件数	新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合
1,034件	28.56%

3-2. 中小企業活性化協議会の利用先数

2022年度の中小企業活性化協議会の利用先数は35先となっております。長引くコロナ禍、原材料の高騰等により、業況が厳しいお客さまは依然として多く、引き続き経営改善支援に向けて中小企業活性化協議会との連携を深めてまいります。

中小企業活性化協議会の利用先数
35先

3. 顧客ニーズに基づいたサービスの提供

3-3. 運転資金に占める短期融資の割合

当金庫では、お客さまからの資金ニーズに適切に対応し、地域経済への安定的な資金供給に努めてまいります。

運転資金額	短期融資額	運転資金に占める短期融資の割合
1, 164億円	115億円	9.9%

※短期融資とは期間が1年以内の融資のことです。

3-4. ファンド活用件数

2020年3月に当金庫と一般財団法人民間都市開発推進機構が設立した「きのくにまちづくりファンド」において、2022年度は第一号案件として社債への投資を実施いたしました。

※「きのくにまちづくりファンド」とは、和歌山市の中心市街地及び加太地区において、空き家・空き店舗等をリノベーション等することにより、地域のまちづくりに資する取り組みを行う事業者へ社債として投資をするファンドのことです。

	2021年3月	2022年3月	2023年3月
ファンド活用件数	0件	0件	1件

4. 本業（企業の価値向上）支援

4-1. きのくにサクセスクラブ会員数

当金庫では、中小企業経営に役に立つ経営情報のご提供や、ビジネスマッチングのご支援を目的として経営者の会である「きのくにサクセスクラブ」を運営しております。

この「きのくにサクセスクラブ」は「きのくにBig Advance」、「インクグロークラブ」、「F & Mクラブ」いずれかのサービスを利用することで、会員資格を得ることができるサービスで、講演会や懇親会等の会員限定サービスや会員限定のビジネスマッチング等本業支援を行っております。

2022年度には「きのくにサクセスクラブ講演会」の講師に青山学院大学陸上部監督の原晋氏を招聘し、会場とオンラインのハイブリッド形式で合計216名の会員さまにご参加いただきました。

きのくにサクセスクラブ 会員数	Big Advance	インクグロー	F & M
931先	646先	249先	36先

・ サクセスクラブ講演会



4-2. 販路開拓支援先数

		2021年3月	2022年3月	2023年3月
販路開拓支援を行った先数	営業エリア内	38先	74先	74先
	営業エリア外（国内）	185先	166先	99先
	営業エリア外（海外）	24先	10先	13先

4. 本業（企業の価値向上）支援

4-3. M&A支援先数・事業承継支援先数

当金庫では、事業承継の相談業務に積極的に取り組んでおります。経営者に後継者等をヒアリングする中で、事業承継・引継ぎ支援センターへの紹介やM & Aの案件が増加する結果となりました。

	2021年3月	2022年3月	2023年3月
M & A 支援先数	16先	14先	29先
事業承継支援先数	27先	23先	46先

4-4. 補助金申請支援先数

当金庫では、認定経営革新等支援機関としてお客さまのための各種補助金の申請支援を行っております。具体的には、補助金等活用に向けた情報提供や計画策定に関するアドバイス、公的機関との連携・紹介、セミナー・相談会の実施、申請書作成に関するコンサルティング等を行っております。

	2022年3月	2023年3月
補助金申請支援先数	55先	26先